

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【公開番号】特開 2008-191478 (P2008-191478A)
 【公開日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-033
 【出願番号】特願 2007-26805 (P2007-26805)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 19/12 (2006.01)
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)
 G 0 3 B 17/02 (2006.01)
 G 0 3 B 17/14 (2006.01)
 H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 19/12
 H 0 4 N 5/225 D
 H 0 4 N 5/225 E
 G 0 3 B 17/02
 G 0 3 B 17/14
 H 0 4 N 101:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 9 月 20 日 (2011.9.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影レンズからの光束を撮像ユニットに導く空間を形成する導光部と、
 前記導光部の内部に配置され、前記撮影レンズから前記撮像ユニットまでの撮影光路に
 挿入されて前記光束を反射する観察位置と前記撮影光路から退避する撮影位置との間を回
 動可能なミラーユニットと、

前記導光部に形成され、前記ミラーユニットの回動によって移動する空気を前記導光部
 から排出する開口部と、

前記開口部を開閉する蓋部材とを有すること
 を特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】

前記撮影レンズはデジタルカメラ本体に取り外し可能であり、
 前記蓋部材は、前記撮影レンズが前記デジタルカメラ本体に取り付けられると開状態に
 なり、前記撮影レンズが前記デジタルカメラから取り外されると閉状態になること
 を特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】

前記蓋部材は、前記ミラーユニットが回動している間は開状態になり、前記ミラーユニ
 ヲットが回動していないときは閉状態になること
 を特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 4】

前記蓋部材は、デジタルカメラの電源が入っている状態では開状態になり、前記デジタ

ルカメラの電源が切られた状態では閉状態になること
を特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 5】

前記開口部は、前記導光部の底面に形成されていること
を特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 6】

前記開口部は、スリット状であること
を特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 7】

前記撮像ユニットを振動させる振動手段を更に有すること
を特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 8】

前記観察位置と前記撮影位置との間を前記ミラーユニットが回転しているとき、前記振動手段は、前記撮像ユニットを振動させること
を特徴とする請求項 7 に記載のデジタルカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係るデジタルカメラは、撮影レンズからの光束を撮像ユニットに導く空間を形成する導光部と、導光部の内部に配置され、撮影レンズから撮像ユニットまでの撮影光路に挿入されて光束を反射する観察位置と撮影光路から退避する撮影位置との間を回転可能なミラーユニットと、導光部に形成され、ミラーユニットの回転によって移動する空気を導光部から排出する開口部と、開口部を開閉する蓋部材とを有することを特徴とする。